

1 学年通信

平成28年 5 月26日

Breakthrough

No. 3

◆夏服です

6月1日より夏服になります。これから暑くなりますが、着崩すことなく、決められた服装で学校生活を送ってください。ダレた格好をすると、心までダレます。注意されるからではなく、自分ですべきことと行って行動してください。

社会生活のさまざまな局面で、できるだけ相手に不快感をあたえず、かつスムーズに行動すること、それはすなわち相手への礼を尽くしていることになる。つまりマナーを守っているということは、相手に「あなたを尊重していますよ」というメッセージを発していることに他ならない。

『人は見た目が9割』 竹内一郎著

◆脳は間違える

第1回定期考査を終えて、現在の気持ちはどうですか。定期考査に向け、完璧な準備で試験に臨みましたか。生徒指導部長からの話にあったように、280人いれば、必ず280番になる人がいます。280番になったからといって、もうダメだとは思わないでください。一番伸びしろのある人なのですから。だからといって、これで良いとも思わないでください。今は1番と280番の幅は狭く、逆転可能ですが、上位と下位の差は、どんどん開いていくのが常ですから。ところで、下記の文を読んでみてください。

こんにちは みさなん おんげき ですか？わたしは げんき です。この ぶんしょう は いりぎす の ケブンツリジ だがいく の けゅきんう の けっか にんげ は もじ を にしんき するとき その さしいよ と さいご の もさじえ あいてれば じばんゆん は めくちちゃ でも ちんちゃと よめる という けゅきんう にもづいとて わざと もじの じんばゆん を いかれてて あまりす。どでうす？ ちんちゃと やちめう でしょ？

どうですか。読めてしまうでしょう。イギリスのケンブリッジ大学の研究で、人間は「文字の最初と最後」さえ認識できれば、あとは今までの自分の経験や記憶から予測して自動的に認識してしまうそうです。これは、便利のようですが、分かったつもりになってしまうおそれもあります。

右側の数字を足し算してみてください。合計を間違える人が結構いるようです。これも思い込みが起こす間違いです。人間の脳は、とても便利にできています。しかし、そのために思わぬ落とし穴に落ちることもあります。問題を解くにあたっては、**速さと確かさを両立させ、ケアレスミスをなくしましょう。**試験の解説をすると「それなら知っていた」という人がいますが、正答を答えられないのは、知っていることになりません。**確実に覚え、確実に解く**ことを心掛けましょう。

Make this without a calculator or paper just your mind

You have 1000,
add 40,
add 1000,
add 30
again 1000.
add 20,
add again 1000
and finally 10.

What is the result?

◆東大合格を目指す人工知能「東ロボくん」

「東ロボくん」を知っていますか。国立情報学研究所が2011年に立ち上げたプロジェクト「ロボットは東大に入れるか」において研究・開発が進められる人工知能の名前です。人間の脳は、間違いをします。だからこそ、確認、見直しが大切です。では、確実に暗記できるコンピュータなら東京大学に合格出来ると思いますか。

昨年、「東ロボくん」は、「進研6月マーク模試」に挑戦しました。センター試験を想定した模擬試験で世界史、数学ⅠA、数学ⅡBの3科目で偏差値60をこえました。しかし、国語、英語、物理では50以下の偏差値で、5教科8科目の平均は、57.8でした。どう思いますか。

進研模試で偏差値57.8は低くはありませんが、すごく高いとも言えません。人工知能は、教科書の内容をすべて記憶できますが、想像力や人の気持ちを理解する問題は不得意です。また、2次試験を想定した世界史の論述問題にも挑戦しましたが、「東ロボくん」の解答は、「**要求された視点を読み取れていない**」「知識偏重型の学習をした受験生が書くような答案」と評価されました。人工知能は、意味を理解しないで問題を解いているのです。教科書をしっかり読まずに、解き方の技術だけで得点しようとする塾のようだとされています。意味が分からないけれど、丸暗記すればどうにかなると思っている人、そこそこの点数はとれるかも知れませんが、それでは**合格はできません**。

◆「螢雪時代」で情報収集

各クラスに「螢雪時代」が置かれています。受験生向けに編集されていますので、受験情報を知るには役立ちます。**高校1年生は、すでに受験生です。**クラスの書棚にあるので見てください。6月号には、「東大生はやっている！努力がダイレクトに効く 勉強改善 7つのポイント」が掲載されています。1つだけ紹介します。

「勉強しているつもり」をやめる

勉強しているのにイマイチ成果が上がらないあなた、問題を解き、答え合わせをするのが勉強だと思いませんか？それは勉強ではなく、「解ける」と「解けない」を振り分ける作業です。いや、自分は解説も読み込んでいる、というあなた、それも「わかる」と「わからない」を振り分ける作業です。

勉強とは、「できない」を「できる」にすることです。先生に質問をしたり、知識を覚え直したり、問題を解き直したりする復習からが、本当の勉強なのです。まずは、**普段の学習において、勉強と作業を分けて考える**ことから始めましょう。

注意して欲しいのが、「解説を読んでわかる＝できる」ではないこと、解説を読んで「なるほど」と納得すると勉強しているつもりになりがちですが、「わかる」だけでは勉強ではありません。解説を読んでわかった問題を何度も説き直し、解説を見ずに自力で解けるようになって初めて、「できる」と言えるのです。

「わかる」を「できる」にするためには、次のステップを踏みましょう。まずは、解説を見ながら自分で解説をします。それが完璧にできるようになったら、次は解説を見ずに手を動かして問題を解きます。さらに、少し時間を置いて、解説を見ず手も動かさずに、問題を解きます。解答を書くのではなく、頭の中で読解の流れをなぞるイメージです。頭の中でも紙の上でもスラスラと解答を再現できるようになったら、堂々と「できる」と言えるでしょう。**できることを着実に増やしていけば、成績も間違いなく伸びていきます。**

長時間机に向かっている、単なる作業をしていては勉強になりません。定期考査の見直しをして、完璧にできるようにしましょう。**テストを終えて、ある先生が一言「甘い！」**